

市指定

所在地：八上下

もみいけにつき

初井家日記

八上城主であった戦国領主波多野秀治一族の、興亡史をまとめたものである。

八上城は織田信長の命を受けた明智光秀に攻められ、天正7年（1579）に落城する。落城後、家臣であった初井五郎右衛門らが、高野山中に隠れ、波多野の性を世に出すのをはばかって、「初井家日記」と称して書き残したものである。全7巻が残っているが、第5巻以下は、享保4年（1719）の写本である。

